

春弥生, spring. Spring のもつ意味は春, 泉, バネ, 跳躍, 原動力, 復元力, 源, 始まり, 大潮などなどで, そしてそれぞれに相当する動詞があります。春には芽がふき出し, hot spring は温泉が噴き出します。大潮は干潮と満潮の差がもっとも大きくなる潮で, 新月と満月時から1~2日後の太陽, 地球, 月が一直線になったときに起きると言われています。なるほど, 太陽と地球と月が一直線になってスタートラインに着き, いよいよ飛び出すぞというわけですか。ヨーロッパではその昔, 新年は4月から始まっていたそうですから, 春が spring というのも納得です。いずれにしてもいよいよ動きが始まる, 噴き出す, あるいは躍動感があるのが spring です。ことばのもつ意味を改めて調べてみるとなかなかおもしろいですね。

さて, 直立二足動物であるヒトの立位, 歩行を考えると, 股関節や膝関節の支持性のもつ意義はかなり大きいわけですが, 脳卒中になると, 足関節を含めた下肢の動きを伴った支持性を得て歩行につなげていくことは至難の業です。関節軟骨は濡れた氷よりも滑りますからなおのことです。そこで下肢装具を用いることがあります, その用い方は医師や理学療法士の考え方によってまちまちです。治療用装具として積極的に用いるグループ, 装具は動きを止めるとして原則的に用いないグループ, ハンドリングが大切であるとして入院リハビリテーション過程の後半まで用いないグループ, ある特定のプラスチック装具を好むグループ, 長下肢装具を積極的に取り入れているグループなど様々であり, 理学療法士全体としての共有知識として存在していない現状があります。

脳卒中治療ガイドライン 2009 は, 早期に装具を用いた歩行練習を行うことを推奨グレード A として位置づけました。しかし, ガイドラインは装具の特徴や装具を用いた理学療法のあり方を示していません。その内容は私たち理学療法士の責任において検討していかなければなりません。本特集ではより治療的意味合いをもった装具の紹介と運動療法の進め方についてそれぞれの立場で解説していただきました。いずれもボリュームが多く, 筆者の方々には相当の努力をいただきました。近年, 我が国でも装具への関心が高まってきているような印象を持っていますが, 本特集がバネのように原動力となって装具利用の加速因子になれば幸いです。

とびらで大工谷氏は尊敬する人物として楠木正成と福澤諭吉をあげられましたが, 両者とも「学問を修めるべし」という基本的な考えを持っていました。学問を修めるためには原点から着実に積み重ねていく姿勢が必要です。Hip には「お尻」以外に「流行の, 流行に強い, 格好いい」という意味があります。Hip に強いはずの理学療法士ですが, 流行の神経系の技術講習会ばかり追いかけて, 物理学も含めた原点に戻って学問を修めていく姿勢も大切なのでしょう。そして食べず嫌いでいた装具を使ってみたら踊るような感動を覚えて, この特集から新しいページが始まる, というようなことがあれば楽しいかもしれません。

春ですから。

(吉尾 雅春)

理学療法ジャーナル

(第45巻 第3号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2011年3月15日発行(毎月1回15日発行)

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5704

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当:阿部・吉永・山崎)

2011年 年間購読料(税込み, 配送料
弊社負担) 冊子のみ 20,880 円, 冊
子+電子版 27,200 円, 電子版/個人
20,880 円, 電子版/共有 24,020 円

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2011, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・  < (株)出版者著作権管理機構委託出版物 >

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
高 橋 正 明
奈 良 勲
福 屋 靖 子
(五十音順, 以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
斉 藤 秀 之
高 橋 哲 也
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
福 井 勉
横 田 一 彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 哲 郎
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐 藤 秀 一
関 屋 光 子
高 口 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
長 野 由紀江
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里